

6 観察のポイント

(1) エサを食べているか？

エサを飽食できているかどうか、牛がトラブルなく能力を最大限に発揮できるかを大きく左右する重要なポイントです。飽食しているかどうかは、乳牛の左腹上部の張りで確認することができます(写真13、14)。



写真13 前から見た観察ポイント

写真14 後ろから見た観察ポイント

(2) その他の観察ポイント

エサの栄養濃度が関係して、牛は様々なサインを発します(図6)。

ア 乳房の状態(写真15~17)

健康な牛の乳房は薄いピンク色を呈していることがほとんどです。

また、体調が良く代謝の良い牛の乳房には、長い被毛は生えません。

以下の場合には体調は万全でないかもしれません。

- ・色が白または黄色みがかかる
- ・乳房に長い被毛が生えている

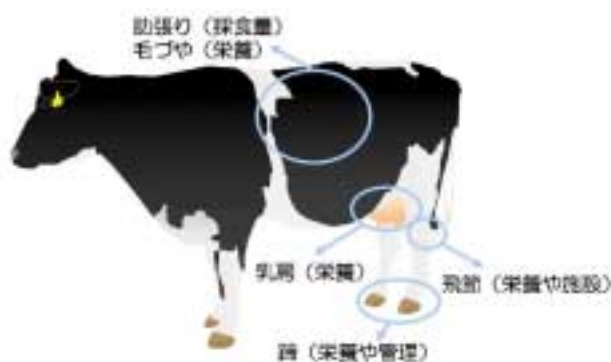


図6 観察ポイント



写真15 健康な乳房の色



写真16 代謝が盛んな牛の乳房



写真17 被毛の多い乳房

イ 肢蹄の状態

蹄はルーメン発酵の影響が現れやすい場所です。以下の場合には注意が必要です。

- ・飛節が腫れる
- ・蹄周辺が赤い、腫れぼったい(写真18)
- ・蹄の表面がなめらかではなくザラザラしている(写真19)



写真18 蹄周辺の赤み



写真19 蹄の表面がザラザラ

ウ 糞の状態

栄養濃度が濃くなっていくにつれ柔らかくなる傾向がありますが、形にならない程度にまでゆるくなったり、色が黄色っぽくなったり濃い色になってきた時は注意が必要です(14ページ参照)。